

## 花が終わったら順に花柄摘み

花が終わったら萎れます。  
その時に終わった順に摘み取っていきます。



▲オレンジ色の線のあたりでポチッと放っておくと、花卉が散った後で膨らんできて実がなります。実をつける時には養分を使うので、翌年に咲く花芽をつける力が衰えま病気にもなりやすいので、忘れないうちに摘み取っておきましょう。摘み取ったら、少し肥料をあげます。

## 花後の肥料のやり方



▲札幌グリーンLC農園の千島桜

花が終わると肥料をあげます。  
油かすなどの固形肥料を置いてあげるといいです。  
札幌グリーンLC農園では、ハイポネックスという液体肥料をあげていま

## 桜盆栽の剪定は5月

剪定をする時期は5月です。

剪定をするときは、枝元から2、3節残して切ります。

桜は葉もとに2番芽ができるので、その芽を数えます。

枝の先端の芽の方が勢いがあるってドンドン伸びて、幹に近い方に花芽が付きにくくなるので、根元の方を残すようにしておきます。

## 桜は枝を切ると病気になるやすい

切ってはいけない・・・のではなく切ったところから腐れやすいので、気を付けましょうというわけです。

よく消毒したはさみで、枝に垂直に切ります。

切り口が斜めにならないように切ると水が出にくく、傷みにくくなります。

枝の切り口には防腐剤を塗っておきます。

盆栽だとちょっとしか使わないので、代わりに木工ボンドでもいいです。

## 桜盆栽の植え替え方法

植え替えの基本的な方法は桜も同じですが、6月に入る前にします。

植え替えが遅くなると、栄養を吸収できる期間が短くなります。

## 日当たりの良いところに置く

桜は木全体に良く日が当たると、花芽ができやすいです。

日差しの強い時期は、日よけネットなどで軽く日陰を作ってあげると喜び外に置くのが普通ですが、家の中に入れるとしたら1日か2日、長くても3日です。

## 花芽を作るには肥料と水やりが肝心

桜は水を好むのですが、やりすぎると花が咲きにくくなったりします。

春から夏にかけては1日に1～2回、夏の暑い盛りは2～3回です。

植え替えをしないでいると、用土の水はけと水もちが悪くなります。

若い木だと毎年、成木だと2年に1回植え替えをしましょう。

肥料は7、8月の暑い盛りを避けて春と秋に与えます。